



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2017年11月号ブリテン 通算第78号 2017.11.16



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: migaku-katoken@mvd.biglobe.ne.jp 書記 加藤 研

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

2017—2018年度 主題 (Theme)

国際会長	Henry Grindheim (ノルウエー)	「ともに、光の中を歩もう」
アジア会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事	栗本 治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
北東部 部長	鈴木伊知郎 (宇都宮東)	「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨こう」
クラブ 会長	及川 浩美	「ワイズメンに誇りを持とう！」

~Let's take pride in Y' s Men! ~

2017~2018年度 クラブ役員

会 長	及川 浩美	会員増強	吉田 俊一	地域奉仕	多田 修
副 会 長	佐藤 剛	会員増強	村井 伸夫	地域奉仕	伊勢 文夫
書 記	加藤 研	YMCA	清水川 洋	地域奉仕	阿部 松男
会 計	門脇 秀知	YMCA	佐藤 健吾	ユース	布宮 圭子
監 査	高篠 伸子	国際・交流	佐藤 善人	ブリテン	荒木 啓二
ネット 会長	松本 京子	国際・交流	菅野 健	直前会長	及川 浩美
ドライバー	菅野 健	国際・交流	本野日出子	担当主事	荒木 啓二

今月の聖句

菅野 健

平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書 5章9節

巻頭言 ~道半ば~

最近の河北新報に、「道半ば」というタイトルの特集がありました。楽天イーグルスの今年8か月に及ぶ全試合と全選手の個人成績が2Pを使って写真と共に詳しく掲載されました。好調な開幕戦からのスタート、5月からの首位維持、夏以降の降下。そしてCSでの戦い。結果は、「道半ば」と評されました。今年も惜しまれて亡くなった有名人もたくさんおられました。その都度、悲しさや惜しむ気持ちを込めて「道半ば」と言われました。でも「道半ば」は悲しいときの言葉だけではないと思います。「まだまだやれるんだ」と自分を励まし、「もっと頑張ればいい結果が待っている」と願い、「明るい未来に向かう道の半分にいるんだ。まだ半分だ。これからだ」という自信をもって。楽天イーグルスも、震災から復興途上の東北も、明るい未来のある「道半ば」にいることを信じましょう。

私もこの春に長く働いた職場で定年を迎えましたが、人生としてはまだ「道半ば」と信じ、ゆっくりと歩き始めている2017年の秋です。

本野日出子

10月第1例会報告							
在籍者	18名	出席者	12名	メイキャップ	2名	出席率	78%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	5名	ニコニコ	15,000円		

日時：10月18日（水） 18：45～

10月・第一例会

場所：仙台 YMCA

出席者：阿部、荒木、伊勢、及川、門脇、菅野、佐藤健吾、佐藤善人、清水川、
多田、松本、吉田、加藤メネット、多田メネット

ゲスト：吉田一恵さん（仙台クラブ）、加藤真子さん（仙台青葉城クラブ）、高松成士さん
（仙台クラブ、西中田保育園園長）、酒巻綾子さん&誠一郎君（西中田保育園）

◇例会企画：『エプロンシアター 実演会』の開催◇

メネットさん達（松本・加藤・門脇・多田各メネット）手作りのエプロンシアターを昨年に続いて、2回目の今年は西中田保育園に贈りました。今回のテーマは「キレイ天使とバイキン魔王」〈衛生の話で手洗いの大切さを伝える内容です〉。西中田保育園の酒巻先生をお招きし、実演していただきました。先生が子供たちに問い掛け、又、アドリブを混ぜながら物語の中に引きこんでゆく語り方が面白く、楽しめました。エプロンシアターの特徴である先生自身が演じることによる子供たちとの距離感の近さを実感しました。先生からは、これから「インフルエンザ」、「ノロウイルス」の予防対策に役立てて行きたいと感謝のお言葉を頂きました。

尚、1回目と3回目のテーマは

○第1回目テーマ：「ニンジン大好き ウサギさん」（南大野田保育園に寄贈）

○第3回目テーマ：「ネズミくんのびっくり誕生会」製作中です。

エプロンシアターとは、中谷真弓さんが考案し、1979年に雑誌「幼児と保育」に発表して以来、保育現場を中心に広がり、エプロンを舞台に見立て、ポケットから人形を取り出したり、つけたりしながら物語を展開させていく人形劇の事です。そして、保育士自身が演じ手となり、全身を使って表現できるのが特徴です。





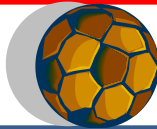
仙台 YMCA チャリティゴルフ

10月19日(木) 泉国際ゴルフ倶楽部にて第20回仙台YMCAチャリティゴルフが開催されました。当日はあいにくの雨の中でのスタートでした。午後からは雨も弱くなり、曇りの天気になりました、それぞれ思い思いのゴルフを楽しんでいました。チャリティゴルフの開催にあたり「支援を必要としている子どもたちを励ます」の趣旨をご理解いただき、今回は94名の方々が参加してくださり、岩手、東京、栃木など遠方からの参加者もいらっしゃいました。

当日の運営はチャリティゴルフ実行委員およびボランティアに支えられ、スムーズに進行されました。また、皆様のご協力のもと、たくさんの協賛品が寄せられ、参加者の皆様に喜んでいただけました。

たくさんの皆様のご協力を支えられ、イベントが無事に終了できたことを感謝申し上げます。 佐藤健吾

被災地交流サッカー



今年で5回目を迎えました、被災地小学生サッカー交流開催にあたり、4ワイズメンズクラブのみなさまには、多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当日は、台風の影響もあり、雨の中での開催となりましたが、会場に駆けつけていただき、応援いただきましたこと、本当にありがとうございました。

サッカー交流を通して、寝食を共にする中で、子どもたちがお互いを思いやり、仲間意識を育む場所となったことは言うまでもありません。子どもたちの生き生きとした顔が本当に印象的でした。サッカーだけではない、普段と違う生活の中で、子どもたちが少しずつ変化していく場面もたくさん見ることが出来ました。

2013年から始まった、被災地サッカー交流も、冒頭でお伝えいたしましたが、今回が5回目の開催となりました。次年度以降どの様なかたちで進められるか検討しながら、このサッカー交流が続いていくことを望んでおります。

佐藤健吾



仙台広瀬川ワイズメンズクラブから加藤メン、阿部メンが雨の中、会場に駆けつけました。感謝です。

南大野田保育園もちつき会



11月1日、恒例の餅つき会に阿部メン、伊勢メン、門脇メン、菅野メンが来園、園児と一緒に餅つきをしていただきました。

今年は、南大野田町内会のお年寄りグループや園児の祖父母も来園し、にぎやかな餅つき会となりました。玄人ワザの阿部メン、子どものやる気を引き出す伊勢メンそしてカメラマンの菅野メンの阿吽の呼吸がさえていました。来年まで餅つきの「あいどり」を練習しておきますので、来年も是非来てください。ありがとうございました。感謝してご報告いたします。

YMCA南大野田保育園 布宮圭子



11月第二例会 報告

「2017年11月1日(水) 11月第2例会報告」仙台YMCA203教室 18:45~20:00

1. 開会点鐘 及川会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. 会長挨拶 及川会長
4. 協議・確認

① 会長報告

- i チャリティゴルフ：約100名の参加。(過去最多)詳細は最終委員会終了後報告。
- ii 被災地交流サッカー：大雨悪天候下各チーム奮闘。次回参加チーム現地開催案提案あり
永続的なワイズ4クラブの支援を切望。
- iii 津波の教え石：11月10日夕方KHB放送にて放映。
- iv 北東部評議会：11月18日(土)の予定。
- v 南大野田保育園 餅つき：11月1日(水)阿部 伊勢 門脇 菅野参加

② 各担当者から提案・報告

- i 11月17日(金)10月第1例会の件 (企画 佐藤剛・司会 阿部)
- ii 12月クリスマス例会： 企画：佐藤健吾 司会：清水川
- iii YMCAクリスマス：12月1日(金)18:00~20:30 旧市民会館B1展示室
- iv 国際協力募金：街頭募金11月23日(木) 12月23日(土)

③ ブリテン原稿 締切11月14日

5. 閉会挨拶 佐藤剛副会長
6. 閉会点鐘 及川会長

以上

津波教え石



東日本大震災で被災した宮城県石巻市荻浜地区の海を望む高台に、市立荻浜中の生徒たちが碑文を考えた「津波教え石」が完成し、除幕式が28日に開かれました。石碑には「後世に伝えてほしい。『ここなら大丈夫』と言わないで、さらに高いところへ逃げ、自分の命は自分で守ってほしい」などと刻まれています。生徒たちは「100年、1000年先の子孫に伝えていく」と誓いました。

牡鹿半島にある同地区は、津波で27人が犠牲になり、331世帯中232世帯の住宅が全壊・流失しました。震災後、「地区の復興の力になりたい」という生徒たちの思いに応え、市が慰霊と伝承の願いを込めた石碑づくりを依頼し、計画が始まりました。

石碑は、市の荻浜支所や公民館などの複合施設が建設される用地の一角に建てられ、関わった卒業生や転校生を含む生徒17人の名も刻まれた。除幕式では、在校生11人を代表し、生徒会長さんが「僕らの子孫がこの石碑を地域の象徴とし、震災の教訓をもとに幾つもの尊い命が救われることを願う」と挨拶をし、除幕して完成を祝いました。

碑文を考えた3年生の生徒さんは「荻浜では実際に『ここなら大丈夫』と思って流された人もいる。この石碑と自分の言葉で、自分の身は自分で守って、という思いを子孫に伝えていきたい」と話しました。

仙台広瀬川ワイズメンズクラブも津波の教え石のプロジェクトに協力をさせて頂きました。今後も公益財団法人仙台YMCAと共に、被災地の支援を続けて行きたいと強く思っています。

荒木啓二

■寄贈者

東北ミサワホーム株式会社

ミサワホーム株式会社

■協力

公益財団法人仙台YMCA

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

東京むかで・仙台・仙台青葉城・

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

石巻広域ワイズメンズクラブ



11月・12月予定

11月17日(金)	仙台広瀬川ワイズメンズクラブ11月移動第一例会 「茂庭荘」
11月23日・12月23日(祝)	国際地域協力募金 街頭募金 午前・午後
12月1日(金)	YMCAクリスマス 場所 トークネットホール仙台 18:00～
12月3日(日)	仙台YMCA職員クリスマス 場所 YMCA会館 他 15:00～礼拝
12月6日(水)	仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第二例会
12月9日(土)	冬季ユースリーグ-委嘱状授与式 場所 YMCA会館 19:00～
12月16日(土)	仙台YMCA感謝会 場所 杉山味・リタン仙台 18:00～
12月20日(水)	仙台広瀬川ワイズメンズクラブクリスマス例会



編集後記

「立ち上がり、思い切って言いなさい。」合同祈禱週での学びを大切に致します。 K・A